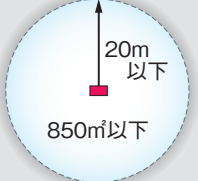
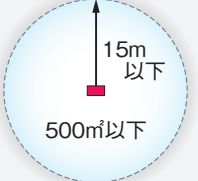


■設置基準

		■【Ⅰ型】YPS-80CR・80FR				■【Ⅱ型】【参考】				
				・水平距離:20m以下 ・防護面積:850㎡以下				・水平距離:15m以下 ・防護面積:500㎡以下		
消防用設備等の種類		耐 火 建 築 物 (6階、3,000㎡以下)		耐 火 建 築 物 以 外 (3階、2,000㎡以下)		耐 火 建 築 物 (4階、1,500㎡以下)		耐 火 建 築 物 以 外 (2階、1,000㎡以下)		
防火対象物の別		延べ面積㎡	4階以上 床面積㎡	簡易耐火 延べ面積㎡	木造、他 延べ面積㎡	延べ面積㎡	4階以上 床面積㎡	簡易耐火 延べ面積㎡	木造、他 延べ面積㎡	
(1)	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場 □ 公会堂、集会場	1,500～3,000	300～	1,000～2,000	500～2,000	1,500	300～	1,000	500～1,000	
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ等 □ 遊技場、ダンスホール ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗 ニ カラオケボックス等	2,100～3,000	450～	1,400～2,000	700～2,000			1,000	500～1,000	
	(3)									イ 待合、料理店等 □ 飲食店
	(4)									百貨店、マーケット、展示場、店舗
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所等 □ 寄宿舎、下宿、共同住宅									
	イ 病院 診療所、助産所									
(6)	□ 特定施設 ハ 上記以外の社会福祉施設 ニ 幼稚園、盲聾学校、養護学校									
	(7)									小中学校、高校、高専、大学等
(8)	図書館、博物館、美術館等									
(9)	イ 公衆浴場の内、蒸気浴場、熱気浴場等 □ 上記以外の公衆浴場									
	(10)									車両の停車場、船舶航空機の発着場
(11)	神社、寺院、教会の類	3,000	600～	2,000	1,000～2,000				1,000	
(12)	イ 工場、作業場 □ 映画スタジオ、テレビスタジオ	2,100～3,000	450～	1,400～2,000	700～2,000				700～1,000	
	(13)	イ 自動車車庫、駐車場 □ 飛行機、回転翼航空機の格納庫								
(14)		倉庫								
(15)	前各項に該当しない事業所	3,000	600～	2,000	1,000～2,000				1,000	
(16)	イ 特定防火対象物の複合用途防火対象物 □ 上記以外の複合用途防火対象物	(1)項～(12)項、(15)項の用途に供される部分。								
	(16の2)	地下街								
(16の3)	準地下街									

パッケージ型消火設備の設置方法

- 防護対象物の階ごとに、その階の各部分から消火設備のホース接続口までの水平距離が【I型】の場合は20m以下、【II型】の場合は15m以下になるように設置する。
- ひとつのパッケージ型消火設備が防護する面積は、【I型】の場合は850㎡以下、【II型】の場合は500㎡以下。
- 地階・無窓階または火災時に煙が著しく充満する恐れのある場所以外に設置すること。
- 温度が40℃以下で、温度変化の少ない場所に設置すること。
- 直射日光や雨水のかかる恐れが少ない場所に設置すること。
- 貯蔵容器のすぐ近くの見やすいところに、赤色の灯火およびパッケージ型消火設備であることを明示する標識を設けること。
- 指定可燃物（可燃性液体類に係るものを除く）を指定数量の750倍以上貯蔵・取り扱う場合は設置できない。

屋内消火栓設備代替・パッケージ型消火設備の技術基準（一般性能）

- 確実に作動するものであり、かつ、取扱い、点検及び整備が容易にでき、耐久性を有するものであること。
- 各部分は、良質の材料で造るとともに、充てんした消火薬剤に接触する部分を当該消火薬剤に侵されない材料で造り、又は当該部分に耐食加工を施し、かつ、外気に接触する部分を容易にさびない材料で造り、又は当該部分に防錆加工を施すこと。
- 部品は、機能に異常を生じないよう的確に、かつ、容易に緩まないように取り付けること。
- 消火薬剤貯蔵容器等の容器弁又は放出弁は、手で容易に開閉できるものであること。
- 消火薬剤貯蔵容器等の規格は、消火器の技術上の規格を定める省令（昭和39年自治省令第27号）第11条から第14条まで、第24条から第29条まで、第33条及び第36条に規定する規格の例によること。
- ノズル開閉弁は、開閉方向が表示されているものであること。
- ノズルは、棒状放水ができるもの又は棒状放水と噴霧放水の切換えができるものであること。
- ホースの長さは、【I型】にあつては25メートル以上、【II型】にあつては20メートル以上とすること。
- ホース、ノズル、ノズル開閉弁及びホースリールは、移動式の不活性ガス消火設備等のホース、ノズル、ノズル開放弁及びホースリールの基準（昭和51年消防庁告示第2号）に適合するものであること。

※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。※この商品写真は見本品です。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトフロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2

ホームページ <https://www.yamatoprotec.co.jp>

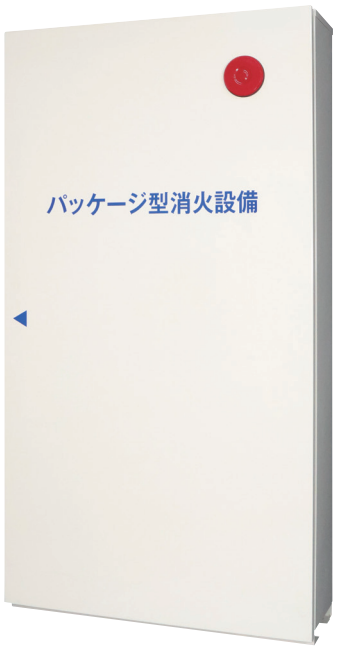
※このカタログは、再生紙を使用しています。



お問い合わせは
こちら



火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety



パッケージ型消火設備/YPS-80CR・80FR

パッケージ1one

（一財）日本消防設備安全センター認定品

ヤマトフロテック株式会社

国内初！ 消火薬剤をラバーバックに封入 新構造の耐食設計で耐久性をアップ

平成16年6月1日施行の改正消防法により、
パッケージ型消火設備は屋内消火栓設備に代えて用いることができる、
「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等」として
認められました。（総務省令第92号・平成16.5.31）

特 長

■フラット表示灯を採用（特許出願中）

薄型の表示灯を新たに採用。すっきりとした見た目で省スペース化、視認性が向上。



■耐久性に優れた耐食設計

消火薬剤貯蔵タンクにSUS製の上蓋を使用したほか、国内で初めて消火薬剤をゴム製ラバーバックに封入した新構造設計。

■屋内消火栓より少ない設備費用

パッケージ型消火設備は、消火薬剤貯蔵タンク・加圧用ガス容器・ホースなどがパッケージ（格納箱）内にコンパクトに収納された消火設備です。
屋内消火栓設備に必要な水槽などの水源やポンプ・配管類・動力電源等の設備は不要なので、設備機械類にかかる費用が少なくすみます。

■取付工事が簡単なコンパクト設計

コンパクト設計のパッケージを据え付け、表示灯電源を確保するだけなので工事が簡単。工事費用も大幅に削減できます。

■1人で操作可能

1人で効果的に消火活動ができます。

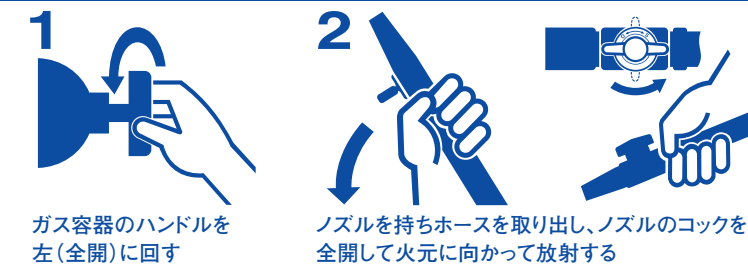
■維持管理が容易

すべてがパッケージに収納されているため、メンテナンスに手間がかかりません。

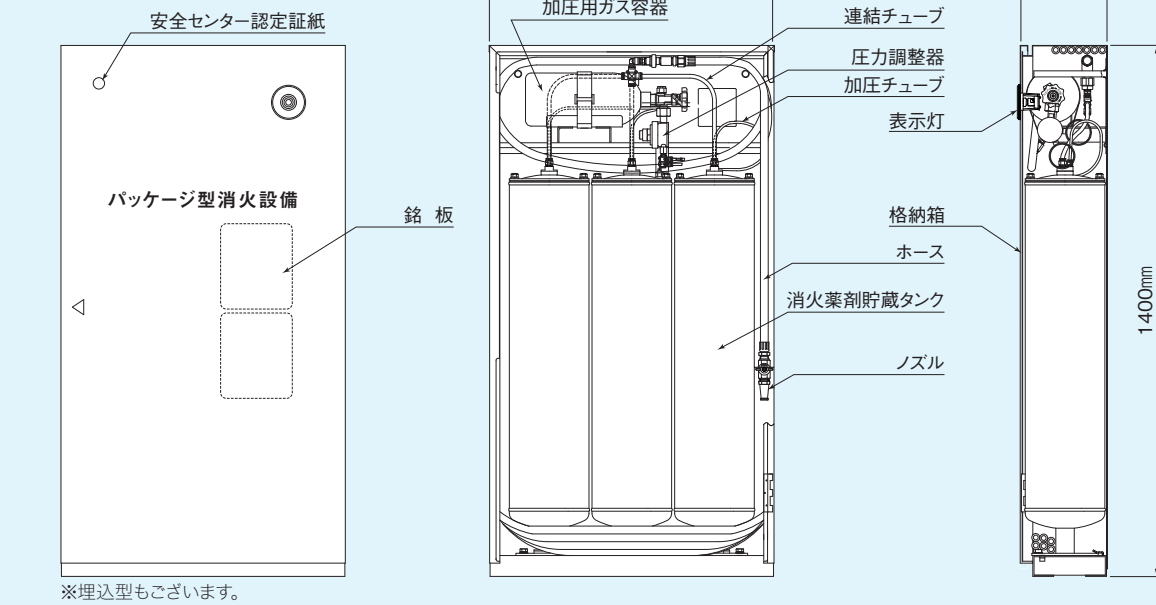
■YPS-80FRは-20℃まで対応可能

寒冷地でも常に安定した消火力を発揮します。

操作方法



■[I型]YPS-80CR・80FR 構造図（露出型）



■仕 様

型 式 記 号	YPS-80CR	YPS-80FR
認 定 番 号	PG-051号	PG-054号
種 別	パッケージ型消火設備I型	パッケージ型消火設備I型
消 火 薬 剤 種 別	第三種浸潤剤等入り水	第三種浸潤剤等入り水
消火薬剤型式番号	品評剤第19～2号	品評剤第24～3号
加 圧 用 ガ ス 容 器	N ₂ ガス 3.4 L	N ₂ ガス 3.4 L
窒素ガス容器弁型式番号	よ-001-1号	よ-001-1号
調 整 圧 力	0.8 MPa(±0.05 MPa)	0.8 MPa(±0.05 MPa)
全 装 備 質 量	約200kg	約200kg
消火薬剤容(質)量	81 L(約98.1kg)	81 L(約98.2kg)
使用温度範囲	-10℃～+40℃	-20℃～+40℃
性 放 射 時 間	約235秒(20℃)	約225秒(20℃)
放 射 距 離	13m～20m(20℃)	14m～18m(20℃)
能 放 射 量	19.8L/min(20℃)	19.9L/min(20℃)
消火薬剤貯蔵タンク	内容積84.0L(28.0L×3本)	内容積84.0L(28.0L×3本)
ホ ー ス 寸 法	φ21(外径)×φ12.7(内径)×25m	φ21(外径)×φ12.7(内径)×25m
ノズル開閉弁	ボールバルブ	ボールバルブ
本体価格 (税込価格)	露出型 780,000円(858,000円) 埋込型 820,000円(902,000円)	850,000円(935,000円) 900,000円(990,000円)

■消火薬剤の種類・消火剤量

消火薬剤の種類	貯蔵する消火剤量	
	[I型]	[II型]
第一種 浸潤剤等入り水	200 L以上	60 L以上
第二種 浸潤剤等入り水	120 L以上	
第三種 浸潤剤等入り水	80 L以上	
強化液	200 L以上	
第一種 機械泡	200 L以上	
第二種 機械泡	120 L以上	

パッケージ型消火設備は、
消火器工業会の廃消火器
リサイクルシステム・対象品
目に含まれます。



屋内消火栓設備代替・パッケージ型消火設備が設置できる 防火対象物

屋内消火栓設備の代替として設置できる防火対象物は、令第11条第1項
第1号から第3号までと第6号の防火対象物、または、その部分のうち次の
ものが該当します。

●令別表第1(1)項～(12)項、(15)項

●(16)項の令別表第1(1)項～(12)項、(15)項の用途に供される部分。

パッケージ型消火設備 [I 型] を設置することができる防火対象物	耐火建築物 6階以下	耐火建築物以外 3階以下
	延べ面積3,000㎡以下	延べ面積2,000㎡以下
●耐火建築物の場合は、 地階を除く階数が6以下 で延べ面積3,000㎡ 以下のもの。	6	
	5	
	4	
	3	3
	2	2
●耐火建築物以外の場合、 地階を除く階数が3以下 で延べ面積 2,000㎡以下のもの。	1	1

※【参考】

■パッケージ型消火設備 [II 型] を設置することができる防火対象物

パッケージ型消火設備 [II 型] を設置することができる防火対象物	耐火建築物 4階以下	耐火建築物以外 2階以下
	延べ面積1,500㎡以下	延べ面積1,000㎡以下
●耐火建築物の場合は、 地階を除く階数が4以下 で延べ面積1,500㎡ 以下のもの。	4	
	3	
	2	2
	1	1
●耐火建築物以外の場合、 地階を除く階数が2以下 で延べ面積 1,000㎡以下のもの。		

■パッケージ型消火設備に関する変更点

●着工届の添付図書

「消防用設備等の着工届に係る運用の一部改正について」 (消防予第167号/消防危第102号/平成16年9月14日)	
1 付 近 見 取 図	防火対象物又は製造所等の所在地付近の略図。ただし、敷地が大きい場合は、敷地内の建物配置図も添付すること。
2 防火対象物又は製造所等の概要表	別記様式1による。
3 パッケージ型消火設備の概要表	別記様式10による。
4 平 面 図	パッケージ型消火設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等を明記したもの及びパッケージ型消火設備の機器等の配置状況等を明記したもの。
5 断 面 図	パッケージ型消火設備の設置に係る階の断面図を明記したもの。
6 配線系統図及び展開図	配線の種類等及び電源系統の接続関係を明記したもの。
7 使 用 機 器 図	ノズル、弁等に使用されている機器の詳細を明記したもの。

●試験基準

「消防用設備等の試験基準の一部改正について」 (平成16年7月28日消防予第130号)	第30 → パッケージ型消火設備 試験基準
--	-----------------------------

●試験結果報告書の様式

「消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件の一部を改正する件」(平成16年5月31日消防庁告示第16号)	パッケージ型消火設備及び → パッケージ型自動消火設備の 様式を追加
---	--

●点検基準&点検票の様式

「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件」(平成16年9月29日消防庁告示第24号)	別表第28 → パッケージ型消火設備の 点検の基準
---	---------------------------------

●消防設備士の種類

「消防設備士が行うことができる必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の工事又は整備の種類を定める件」(平成16年5月31日消防庁告示第15号)	→ 第一類、第二類又は 第三類の消防設備士
---	--------------------------